

『大学日本語教員養成課程研究協議会論集』投稿規程

(2023 年 8 月～)

1. 論集発行の目的

大学日本語教員養成課程研究協議会（以後、大養協）の会員に、日本語教員養成に関する研究、調査、教育実践の発表及び、議論の場を提供することによって、会員相互の交流と本会の発展を促すことを目的とします。

2. 論集発行の時期

本論集は、年 1 回（3 月末）の発行とします。

3. 論集の構成

基本的に、以下の 5 種類の原稿とします。

＜特別寄稿＞シンポジウム記録など必要に応じて設定されたテーマに沿った依頼原稿。

＜投稿論文＞以下の内容区分による。

- ① 研究論文：研究・教育・調査などに関する学術的成果をまとめ、独創性・信頼性・有効性が高い論文。
- ② 調査・実践報告：教員養成に関する独創性のある知見や方法などが客観的なプロセスを経て導き出されている調査・実践報告、あるいは、論文までは研究が進んでいないが、その前段階として教育実践をある程度まとめたものなど。

＜書評＞数年以内に発行された新刊書の紹介。

＜関連記事＞大会案内、国内・国際学会の報告、会員の声、大養協活動報告など、会員に有用な情報や記事。

＜その他＞会則、投稿規程、執筆要項、編集後記など。

4. ＜特別寄稿＞＜投稿論文＞の投稿の資格、及び、手続き

- (1) 投稿者は、大養協の個人会員でなければなりません。ただし、特別寄稿の場合、その限りではありません。
- (2) 執筆者が複数の場合、そのうち 1 名は、大養協の会員でなければなりません。ただし、特別寄稿の場合、その限りではありません。
- (3) 他誌において査読中の論文は投稿できません。また、独創的な部分が未発表でなければなりません。
- (4) 執筆要領については〔原稿の執筆要領（別紙）〕に記載しております。

5. ＜特別寄稿＞＜投稿論文＞の投稿方法

(1) 次の 3 点を作成してください。

- ① オリジナル原稿 1 部：MS ワード形式（doc 形式または docx 形式）または MS ワード文書と互換性のある形式で保存した電子ファイル。
- ② オリジナル原稿 1 部：PDF ファイル形式で保存した電子ファイル。
（著者が意図したレイアウトを確認するために必要。）
- ③ 投稿者情報 1 部：MS ワード形式（doc 形式または docx 形式）または MS ワード文書と互換性のある形式で保存した電子ファイル。（指定のフォーマットあり）

- (2) (1)に記載のある資料を以下の宛先に電子メールで提出してください。

宛名：大学日本語教員養成課程研究協議会(大養協)論集担当

E-mail：ronshu.daiyokyo@gmail.com

- (3) 原稿提出の締め切りは、春季大会シンポジウムの特別寄稿、秋季大会シンポジウムの特別寄稿、投稿論文、全て 11 月 30 日とします。

6. 投稿に関する問い合わせ先

大学日本語教員養成課程研究協議会(大養協)論集担当

E メール：ronshu.daiyokyo@gmail.com

HP：http://daiyokyo.com/

7. 原稿の取扱い

- (1) 採録原稿の著作権および出版権は、大学日本語教員養成課程研究協議会に帰属するものとします。採録原稿の執筆者は、採録原稿の本会ウェブサイトおよび総合電子ジャーナルプラットフォーム（J-STAGE 等）への登録および公開に伴う公衆送信について、これを許諾したものとみなします。
- (2) 採録論文は「大学日本語教員養成課程研究協議会論集」に掲載されます。「大学日本語教員養成課程研究協議会論集」はオンライン版で発行します。
- (3) 論集の掲載論文等を他の出版物に転載したり、インターネットで公開する場合は、その原稿が大養協の論集に掲載されたものであることを明示してください。また、事前に事務局にご連絡をお願いします。
- (4) 投稿論文は、担当編集委員・査読委員の審査に基づき、編集委員会で採否の決定を行います。
- (5) 投稿原稿は返却しません。
- (6) 特別寄稿は、必要に応じて編集委員会が依頼するものとします。

[原稿の執筆要領 (別紙)]

- (1) 原稿の分量・形態：分量は、＜投稿論文＞（研究論文ならびに調査・実践報告）は、15枚程度、最大 20 枚まで可とします。枚数には、参考文献、図表、注、資料等の全てを含めます。枚数の超過は認めません。ただし、特別寄稿は、その限りではありません。投稿原稿は原稿の種類を問わず Word（A4 判横書き）とし、40 字×39 行を原則とします。また、図表を含め、コンピュータ上で編集可能な形で提出してください。なお、編集上の都合により、提出された原稿のレイアウト、形式を変更することがあります。
- (2) 原稿の構成：原稿の区分、表題、氏名、所属、キーワード（日本語で 5 語以内）、本文、注、参考文献、資料の順とします。全てにおいて 1 段組みとします。
- (3) 原稿の区分：特別寄稿は、特別寄稿と記してください。投稿論文は、①研究論文または②調査・実践報告の区分を記してください。
- (4) 表題：和文タイトルは MS ゴシック 14 ポイント、英文タイトルは Times New Roman 12 ポイントで書いてください。
- (5) 氏名、所属：氏名、所属の順に記し（MS 明朝 10.5 ポイント）、その下に氏名のローマ字表記、所属の英語表記（Times New Roman 10.5 ポイント）を添えてください。
- (6) キーワード：5 語以内とします。MS 明朝 10.5 ポイントで書いてください。
- (7) 本文：各章の見出しは、MS ゴシック 10.5 ポイント、本文は、MS 明朝 10.5 ポイントで書いてください。
- (8) 図表：図表の文字は、基本的に 8 ポイントにしてください。（強調などのため、これより大きいポイントの文字を部分的に使用することは可能です。）図表の表題は、MS ゴシック 9 ポイントにしてください。（太字にする必要はありません。）表番号と表題は表上、図番号と図題は、図の下に記載してください。
- (9) 注および参考文献、資料：注および参考文献は、通し番号を付し、注は脚注ではなく後注にし、(1)、(2)...の番号を語の右肩につけてください。注、参考文献、資料は MS 明朝 9.5 ポイントとし、それ以上小さくしたり、行間をつめたりしないでください。参考では、論文については著者、発行年、論文名、書名、掲載雑誌の巻・号、掲載頁を記してください。書籍の場合は、著者、発行年、書名、発行所の順とします。
- (10) 句読点：日本語は「、」、「。」、英語は「,」、「.」で統一してください。
- (11) 母語以外の言語で執筆した場合、投稿前に投稿者の責任においてネイティブチェックを済ませてください。

2023 年 8 月改訂